

## ◎電気情報工学科（電気工学科）

主任 皆本 佳計

### ○ 運営目標の実施状況とその成果

#### 1. 基本方針

1. 1 教育改善を推進し、教育目標が達成できるよう努力する。
1. 2 課外活動の奨励を行う。
1. 3 研究活動を活性化する。
1. 4 学科のPRを積極的に行う。
1. 5 環境整備を進める。

#### 2. 平成16年度実施計画

##### 2. 1 教育（教務委員を中心に）

###### [1] コース制を踏まえてカリキュラム・シラバスを見直す。

- (1) 電気情報工学科・電子制御工学科とのカリキュラムの融合の検討
  - ・両学科の学生が選択できる科目を新設した。
  - ・共通する基礎科目（ディジタル回路）の担当を共通化した。
  - ・専攻科のカリキュラムも含め、なおいっそうの見直しが必要である。
- (2) 実験内容の見直し、実習科目の新設
  - ・電気情報実習Bにおいて、ミニプロコンを加えるなど内容を充実した。
  - ・次年度に向けて3年生以降の実験実習テーマの見直しを行った。

###### [2] 学生の勉学に対する意識改革を図る

###### (1) オフィスアワーの有効活用

- ・延べ300人の参加があった。
- ・教員を2班に分け統一して行った。
- ・学科として勉強する雰囲気作りと、縦のつながりを持たせることを目的に、教員室ではなく実験室等でまとめて指導を行った。
- ・参加者を増やす工夫を行ったが不十分であった。

###### (2) 低学年の指導（アドバイザー制度の活性化）

- ・1,2年の演習科目において、電気基礎科目の指導を中心に行った。
- ・隔週ではあるが、担当学生と接することができ有効であった。
- ・勉強以外の相談なども積極的に行えるよう改善が必要である。

###### (3) 成績優秀者の指導（さらに上を目指させる）

- ・各教官が授業などを利用して、資格取得や進学などについて啓蒙を行った。

###### (4) 成績不振者のフォロー

- ・担任を中心にオフィスアワー参加を呼びかけたり、フォローを行ったが、十分ではなかった。

###### [3] 全員で協力し、教育改善推進計画を実行する。

- ・教育改善推進計画の項目で詳しく述べる。

##### 2. 2 学生指導（学生委員を中心に）

###### [1] 服装、身だしなみ、自転車2人乗りなどに対する指導

###### [2] 学生に対する挨拶の励行

###### [3] 朝の校門での登校指導

###### [4] その他

低学年： 茶髪、ピアスの禁止の指導

高学年： 学校周辺での喫煙

- ・学校の指導に積極的に協力した。
- ・教職員全員が学生に対して挨拶をするよう心がけた。

### 2. 3 課外活動

- [1] クラブ活動の指導に協力する。(他学科の学生と知り合うよい機会であるとする)
  - ・多くの教員がクラブ・愛好会の指導・引率を積極的に行った。
- [2] 授業以外のプロジェクト(体験学習・出前授業・アイデア通りなど)を活用し、学生とふれあう機会を多く持ち、幅広い指導を行う。
  - ・学科で催した行事には全教員が参加し学生との交流に努めた。
  - ・アイデア通りの指導などでは、他学科の学生の指導なども行った。  
(平野・皆本)
- [3] 学生の縦のつながりが作れる機会を作る。
  - ・統一して行ったオフィスアワー・体験学習・国領祭の準備など1年生から専攻科まで多くの学生が参加するよう指導した。

### 2. 4 研究活動

- [1] 成果を発表する(授業改善・学生指導なども含め)。
  - ・授業改善報告を2教員が学外発表するなどおこなったが、全体的には不十分であった。
- [2] 個人ごとの目標を立てて実現に向け努力する。
  - ・各自努力したが、まだまだ不十分であった。
- [3] 他の機関(企業・大学)との共同・受託研究を活発にする。
  - ・2名の教員が共同・受託研究を行った。
  - ・積極的に研究テーマに応募するなどを行った教員もいたが、全体的には不十分であった。
- [4] 卒業研究・特別研究の活性化を行う。
  - ・特別研究ではグループで進捗状況をチェックするなど改善を進めた。
  - ・卒業研究と実験・講義が重なっていた教員が多く、グループ指導など時間的に困難で不十分な点が多かった。
- [5] テーマ・ペースが合えば、学内でグループを作る。
  - ・特別研究の指導などで協力体制の取れたグループもあったが、全体的に不十分であった。
- [6] 科研費など、外部資金獲得に努力する。
  - ・科研費の申請は全員が行うよう努力したが、不十分であった。

### 2. 5 学科のPR(教務委員を中心に)

- [1] 市民講座・地域行事へ積極的に参加する。
  - ・積極的に参加した。
- [2] 出前授業・公開講座を実施する。
  - ・ホームページ制作に関する公開講座を開催した。
- [3] 体験学習・国領祭の学科展示などの内容を充実させる。
  - ・ものづくりをテーマに内容の充実を行った。
  - ・パネルを50セット購入し、展示物の説明などの改善を行った。
- [4] 学校挙げての取り組み(アイデア通りなど)へ積極的に協力する。
  - ・アイデア通りに関しては積極的に協力できた。(平野・皆本)
- [5] Webページによる情報発信を活性化する。

- ・中学生向け Web ページいち早く作るなど積極的に行った。
- [6] 保護者・学生に学科の情報を伝える（廊下の掲示板・新聞など）。
  - ・保護者懇談会の際に学科の進路状況・資格取得情報を掲載した資料を配布した。
  - ・就職・進学に関する情報発信コーナーを電気情報工学科棟 1 階に設けた。
  - ・資格取得に関しては、学生への資料配布、Web ページの新設、専用掲示板の設置などを行った。今後も充実していく予定である。
- [7] 中学生向け PR パンフレットの作成・配布。
  - ・学科独自のパンフレットを作成し、体験学習の時などに参加者に配布した。
  - ・ものづくり成果発表会のパンフレットは、新居浜・西条市内の小中学生に学校を通して全員に配布してもらった。
  - ・今年度の志願者減少を考えると不十分であったかもしれない。内容・配布時期を改善する必要がある。
- [8] 実習・卒研などの成果を学外に向けて発表する。（公開発表会）
  - ・ものづくり成果発表会を 12 月に市民文化ホールで開催した。
  - ・準備を含め教職員・学生が協力して取り組んだ。

## 2. 6 環境整備（環境委員を中心に）

- [1] 実験室・廊下を整理整頓し、スペースを有効利用する。
  - ・学生実験用の実験室に関しては、いくぶん整理ができたが全体には不十分であった。
- [2] 教員の時間を確保する。
  - (1) 学科会議をスピーディに（プロジェクトなどの活用）
    - ・平均 2 時間 30 分は会議に時間を費やした。
  - (2) 業務を分担して行う。
    - ・効率よくできなかった。（主任が抱え込みすぎた）
- [3] 校内外の環境美化に協力する。
  - ・教職員・学生協力して積極的に行った。

## 2. 7 その他

- [1] 教員相互の情報交換を頻繁に行い、問題がある場合などは、全員でフォローできる体制を作る。
  - ・定例の学科会議において学生の様子などの情報交換を行った。
  - ・問題が生じた場合は、昼休みなども利用し全員で話合った。

## ○ 総括的な評価と課題

教育・学生指導に関しては、ほぼ実施計画どおりのことは、行うことができた。図書館利用件数で 5 年電気工学科が表彰していただけたことなど成果が現れたものもあったが、低学年での留年者・進路変更者がでるなど継続して努力していかなければならない課題も多い。研究活動に関しては全体に低調であった。教育とのバランスを取ることは非常に難しい課題であるが、全教員今後も努力していく必要がある。PR に関しては、学外発表会・Web ページの改良など努力したつもりであったが、入学志願者が大幅に減少した事実を真摯に受け止めさらに改善していく予定である。